

ホノルル マラソンにチャレンジ

60代最後の思い出を作りたい。今までやっていないことが何かあるか?と考えた時、毎朝歩いている時に遠くに見える雄大な姿の富士山と、阿夫利神社が祀られる男らしい大山の姿が思い浮かんで来た。大山阿夫利神社まで、年を越して歩いて行こうと決めて、何人かの人に呼びかけたが体裁よく断られ、一人で行くことになる。12月31日午後10時に自宅から246号の舗道を歩くこと10時間、大山阿夫利神社に登ることが出来た。一面雪景色の中に立ち、そうだ、ここまで歩いて来たんだから...

新しいことに挑戦したい気持ちで新年の挨拶を済ませ気分爽快、次はフルマラソンだ! これは未知の世界と思っていた。ただこの場でフルマラソンを走ろうと両手を合わせ雪の中に立つ。自問自答の末“走ろう”と大きく息を吸い込んだ。とたんに体が寒くガタガタして来た。よし今からヤロウと神社を後にして正月の店先を横目で見ながら帰って来た。

時は流れ、5月中旬より中川セントラルスポーツジムに通い半年が経過した。カリキユラムにより指導され、毎朝少しずつ走る距離を伸ばし11月には15キロを3回走り込んだ。少しずつ不安は消えてきた。最初は一人で行く予定でいたが、子供達が心配だから同行するということになり、私も一抹の不安を持っていたので、実のところほっとした...。聞いてみると数ヶ月前より練習はしていたようだ。さらに強いスケットが...次男の友達で毎日10~20キロを走り続けている〇君が私の伴走者になってくれると言うではないか。本当に心強く思い「ありがとう」を連発してしまった。

晴れ晴れとした気持ちで12月12日ホノルルに向かう。着いてゴルフ場に直行。トレーニングのつもりで、カートには乗らずラウンドしてホテルへ。次の日も別のゴルフ場で前日と同じようにラウンドした。体調はすこぶる良好だ。いよいよ明日は今まで積み重ねた練習

を生かせる日だと思いながらその日が終わる。

当日は午前1時起床、軽い食事を取り準備も万全、スタート場所へ向かう。5キロ程歩いたところが出発点、大勢の人・人・人どこに誰がいるのか?...

大きな花火が10発、午前5時スタートだ。真っ暗だからすごく花火がきれいに見えた。

何度か夫婦で来た思い出多いホノルル...、二人で走ろうと写真をパンツに取り付け、子供達にも気付かれないようにして、今から二人で42.195キロを完走しようとしてスタートした。2時間も過ぎた頃

るくなり、昼頃には30度近くなったようである。折り返しまでは気持ち良

く走れたが、そこからはさすがに苦しかった。気温が上がり体が前に出なくなり、もう歩こうと思えば道路端に行くと思えば勇気づけられ...ゴールに向かって走り続ける事が出来た。8ヶ所くらいチェックポイントを通過して、最後の登り坂ダイヤモンドヘッドへ向かう坂を登り、今度は下りだ。一人でも前の人を抜いて行こうとスピードをあげると、テープが見えて来た。

これからが長い、前に進まない。だけど早くゴールしたい。こんな焦りを繰り返してようやくゴールだ。「二人で走り切ったぞ」と思わず叫んだ。ヤッタヤッタ!

ところで同伴者はと、まわりを見ると懸命について来ているではないか! 全員完走出来た。こんなうれしいことはない。「みんなありがとう、ありがとう」

余韻の残る中で完走手続きを済ませホテルまで歩く。これがつらかった!

こうして今回のハイライトはジ・エンドとなる。楽しかった思い出を沢山ありがとう。良き人生の思い出に感謝。

2004.4.3

工藤五三

